

の順位であった。これは、HIV 感染リスク行動の規定要因を明らかにするため、リスク・アセスメント調査における質問項目とリスク行動の相関係数を算出したものである。

表 30 関東地域での特定された啓発領域の上位5つ(再掲)

順位	記号	啓発領域	相関係数
1位	ト,ナ	主張スキル	0.786
2位	ク	行動変容の意図	0.525
3位	セ	周囲規範	0.511
4位	コ	魅力・快感	0.416
5位	サ	コンドーム抵抗感	0.351

この中で、(1位)「主張スキル」を最も重視し、5コマ・マンガによる形式を採用した。コンドーム使用をお互いが言い出せないうちに、アンセイファーな行為に至るプロセスをマンガで表現し、そこに4つの対処テクニックを提案型で併記した。(2位)「行動変容の意図」は、2つの項目からアプローチした。1つは、平成元年から平成12年末までの横浜市内のHIV感染者報告数の感染経路別内訳を円グラフで示し、男性同性愛者の間での感染の広がり伝えた。もう1つは、セルフ・リスク・チェック・シートを開発した。これは、リスク・アセスメント調査による質問項目とリスク行動の相関係数を2乗し、数値のスケールを項目間で相対化して、関係の程度を表したものである。セルフ・チェックによって自分のリスク状況を客観的に知り、行動変容の意図を確認させることをねらいとしている。(3位)「周囲規範」については、周囲のコンドーム使用認識が実際の使用率とギャップがあったことから、コンドーム使用の「想像」と「実際」を棒グラフで表現し正しく伝えた。(4位)「魅力・快感」は、主張スキルでのマンガの描写およびセルフ・リスク・チェック・シートでの項目に取り入れた。(5位)「コンドーム抵抗感」は、コンドームなしでも楽しめるセイファーセックスを紹介し、オルタナティブなセイファーセックス情報を提供した。その他、ベスト5にはない領域ではあるが、「HIV 感染の知識」「行為知識」および「NGO サービス案内」「行政サービス案内」を盛り込んだ。

表 31 「Brush Up!SaferSex(横浜版)」を構成する啓発領域とテーマ

記号	啓発領域	テーマ、内容
イ	HIV 感染の知識	○感染経路(感染の可能性のある体液、カラダの部分)の解説
エ	行為知識	○セイファーセックスの基本メニューの紹介 最低限これだけで、かなり安心できる ○ゲイ・セイファーセックス・ガイド(知っておきたい4パターン)
ク	行動変容の意図	○横浜市内のHIV感染者報告数の内訳を紹介 ○セルフ・リスク・チェック・シート (「こんなことが実は、関係があることを紹介」)
ト,ナ	主張スキル	○「コンドームをどちらが先に言い出すか？」 <対処法の提示>→「言ってみよう」「かわし方」「中断のしかた」 「違うことをおねだり」
コ	魅力・快感	(セルフ・リスク・チェック・シートの項目およびマンガの描写に反映)
サ	コンドーム抵抗感	○「コンドームなしでも楽しめるセイファーセックス」
セ	周囲規範	○「まわりは、きみが思っているよりコンドームを使っている」
ハ	NGO サービス案内	○STDも含めたセイファーセックスの解説と関連サービスの紹介 ○もっと詳しく知りたい(電話相談/サイト情報一覧)
フ	行政サービス案内	○夜間、土日の検査相談機関情報、HIV検査・相談マップの紹介

(3)「Brush Up! Safer Sex」具体的な頁立ての構成内容

蛇腹形式のリーフレットのため、頁構成としては、表裏 12 ページ（12 面）から成る。

表 32 「Brush Up!SaferSex(横浜版)」の頁立ての構成内容

	頁	見出し	記号	啓発領域
表 面	表紙	Brush Up! Safer Sex	—	—
	2	HIV 感染の現在	ク	行動変容の意図
	2～3	感染経路を知っておこう！	イ	HIV 感染の知識
		セイファーセックスの基本メニュー	エ	行為知識
	4～5	こんな経験ない？…	ト, ナ	主張スキル
		まわりはコンドームを使っているかどうか？	セ	周囲規範
6	もっと詳しく知りたい！	ハ	NGO サービス案内	
	検査を受けたい時は？	フ	行政サービス案内	
裏 面	7～8	エッチのセイファー度チェック	ク	行動変容意図
	9	(写真画像のみ)		—
	10～11	STD(性感染症)のためのセイファーセックスは、 こうしよう！	ハ	NGO サービス案内
		コンドームなしでも楽しめるセイファーセック スってどんなの？	サ	コンドーム抵抗感
	12	ゲイのための電話相談／サイト	ハ	NGO サービス案内
		セイファーセックス情報	ハ	NGO サービス案内
HIV 検査・相談マップ		ハ	相談・検査機関案内	

D. 考察

1. 「個人レベル」=STD 情報ライン/STD 情報ページ

STD 情報ライン/STD 情報ページは、この 2 年間で、両者が完成し、年間を通してサービス提供を行う環境が整った。このプログラムを個人レベルの介入形態と位置付けている大きな理由は、個人個人のニーズによって、情報へのアクセスに選択肢を用意しているところである。

STD 情報ライン/STD 情報ページは個人レベルの啓発手法と位置付けているが、小グループ・レベル、コミュニティ・レベルでの啓発においては、広報普及を推進する最もベーシックな対象リソースとして位置付けている。そのため、STD 情報ページは特に情報普及としてのコミュニティ内での対象リソースであることを考えると、一方で、コミュニティ・レベルの介入の側面を併せ持っているとも考えられる。

リスク・アセスメント調査結果で特定された啓発領域の反映としては、ダイレクトな関係にはないが、小グループ・レベル、コミュニティ・レベルによる普及のリソースであり、フォローアップ機能でもあると考えられる。

また、最終年度には、STD 情報ライン/STD 情報ページ両者のサービス供給についての実績報告を行い、両者間の相互作用について考察する予定である。

2. 「小グループ・レベル」=LIFEGUARD2002

(1) 調査と連動したプログラム開発の意義

LIFEGUARD2002 は、小グループ・レベルの啓発手法として、リスク・アセスメント調査結果と

して特定された HIV 感染リスクの規定要因を具体的に反映させる形で企画化し、実施された。

どのような諸要因が個々人のリスク行動に関連しているかを明らかにしたうえで啓発内容を定めることによって、調査と連携しながら予防啓発をすすめていくうえでのひとつのモデルとして提示することができたと考える。

(2)参加者の適性規模とリクルート

今回のパイロットでは、参加者数は13人であった。適性規模についての参加者のアンケートでは、多い(1名)、ちょうどよい(6名)、少ない(5名)であった。少ないと回答した人に適性人数を聞いたところ、20人が1名、30人が3名と回答している。企画内容の運営の容易さからの参加者数の適性規模は20人前後と考えられる。コミュニティ規範の変容を促すような役割をこの小グループ・レベルでの啓発介入で担うことを想定する場合、参加者のリクルートが重要な課題と言える。

(3)実施運営における課題

LIFEGUARD2002を事業化する場合の大きな課題は、参加者のリクルートである。今回は、川崎市の協力を得て、川崎市日曜検査を実施している健康・検診センターの研修室を会場とした。一般的には、行政機関の施設へ足を運ぶことに抵抗のある参加者もいると考えられるが、健康・検診センターの立地は駅前の好条件にある。また、日曜検査の実施機関を紹介することにも繋がる意義を考え選定した。こういった開催場所は選択肢の1つであるが、今後は参加者の増加を促すために、実施場所の工夫、あるいは出前型、出張型、サークルやグループとのタイアップ型などの実施形態の模索も必要となる。それにともない、広報宣伝においては、こういった小グループ型の企画イベントの情報源としてこの5年間でもっとも変化し増大傾向を示しているインターネットをより重視する必要がある。今回はLIFEGUARD2002に関する簡易なサイトを立ち上げて、様々なゲイ関連のサイトにおいて紹介をしてもらったが、より本格的なインターネット上での広報が必要となっている。

LIFEGUARD2002では、リスク・アセスメント調査結果で特定された「主張スキル」をワークショップ型に適した領域であることからプログラム化したが、ここでは、参加者どうしでスキルを出し合うだけでなく、事前に収集したスタッフによるスキルも紹介した。これらのスキル事例は、蓄積され、より有効なもの、より具体的なものが数として提供できることが望ましい。そのため、今後もスキル事例の収集は不可欠で、フォーカス・グループ・インタビューを継続して実施する必要がある。

LIFEGUARD2002は、リスク・アセスメント調査結果を反映させてプログラム化した。今後はワークショップで使用するパネルや、小道具、配布資料などを一定本格的な印刷によって量産し、各地域でも活用できるような資材開発が必要である。

(4)効果評価の考察

LIFEGUARD2002を企画する上で、12の評価内容を設定してプログラム化した。また、効果評価アンケートでは、可能な限りこれらの目標を評価できるようデザインしている。

表 33 「LIFEGUARD2002」評価目標設定の一覧

評価内容	該当部	記号	介入領域	達成度
①参加者どうしの会話に満足することができる	全体	—	—	△
②HIV の感染経路を少なくとも3つあげることができる	2部	エ	行為知識	○
③フェラチオの可能性についてあいまいさを解消することができる	2部	エ	行為知識	○
④リスク行為のグラデーションを理解することができる	2部	エ	行為知識	○
⑤感染の可能性のある体液を区別できる	2部	イ	体液知識	○
⑥感染に関係のある部位を区別できる	2部	イ	部位知識	○
⑦ゲイセックスの「する／される」によるリスク差の有無を理解できる	2部	エ	行為知識	○
⑧自分の行為のリスク評価をすることができる	2部	カ	リスク評価	—
⑩コンドームのバリエーションの魅力をすることができる	休憩中	サ	コンドーム抵抗感	○
⑪自分がリスクをさける対処スキルを1つ以上上げることができる	3部	ト,ナ	主張スキル	○
⑫他のゲイにも伝えようと思うようになる	全体	—	—	○

【コミュニティ参加度】(参加者どうしの会話に満足することができる)

イベント内で、他の参加者と話が「あるていどできた」が5人(38.5%)、「あまりできなかった」が7人(53.8%)であった。プログラムの企画内容が直接話し合い内容が多くなかったためと考えられる。

【知識】

「⑤感染の可能性のある体液を区別できる」「⑥感染に関係のある部位を区別できる」に関しての知識は、プレ調査を含め全体を通して正答率が高かったが、ワークショップ終了時には、正答率は全て9割以上に上昇した。1カ月後でも、膣分泌液を除いて9割以上の正答率が維持されていた。感染行為の知識に関しても、有意差は見られなかったものの同様の傾向を示している。これは、参加型のワークショップの体験が、曖昧な知識をクリアにすることを示唆している。よって、「②HIV の感染経路を少なくとも3つあげることができる」「③フェラチオの可能性についてあいまいさを解消することができる」「④リスク行為のグラデーションを理解することができる」「⑦ゲイセックスの「する／される」によるリスク差の有無を理解できる」の目標については、ほぼ達成されたと言える。

【自分のリスクへの評価】

「⑧自分のリスク評価をすることができる」については、1ヶ月後の調査では、大きな変化は見られなかったが、実際のリスク行動と自己評価を比較をしていないため、効果評価手法として今後の検討課題となっている。

【コンドーム態度】

「⑩コンドームのバリエーションの魅力をすることができる」については、コンドームについての「おもしろさ」「エロティックさ」についての上昇を見たものの、有意な差は見られなかった。

しかし「使用意識」に関しては、有意な差がみられた。コンドームを使ってみたいという意識の向上は、休憩企画の「コンドームランキング」の提示方法の効果を示唆している。

【主張スキル】

リスク行為をさけるテクニックの認知として、「フェラチオのときに HIV 感染をさけるテクニックを知っている」「アナルセックスのときに HIV 感染をさけるテクニックを知っている」の2つについては、どちらも「知っている」と回答した人の割合に有意な差が見られた。目標として掲げた、「②自分がリスクをさける対処スキルを1つ以上挙げることができる」については、終了後アンケートでは、9人(69.2%)が具体的な対処スキルを1つ以上記述していた。3部「使えるテクニックとハウツー・シェアリング」が有効であったことを示唆している。

【普及】

「普及理論(Diffusion theory)」によると、このようなワークショップにコミュニティの構成員の15~20%が参加することによって、コミュニティ・レベルの変容を促すことができるとされている。このワークショップの参加者に「今回のイベントでとりあげられたエイズについての話題で、友だちに知らせたいと思ったことはありませんでしたか」という質問を終了時アンケートでしたところ、12人(92.3%)が「はい」と回答している。少なくとも終了時においては、コミュニティ内での普及の担い手としての意志を示していると考えられる。

【リスク行動】

リスク行動の変容については、1回3時間のワークショップでの効果としては限界であると考え、当初より目標の中に設定しなかった。終了1ヵ月後のフォローアップテストのサンプル数が少ない(n=7)ため、正確な評価は難しいと考えられるが、アナルセックスにおけるコンドーム使用頻度は、終了1ヵ月後のフォローアップテストでは、「入れる時」は減少し、「入れられる時」は増加した。口内射精をする頻度については、終了1ヵ月後には、「口内射精をする/される」ともに30%から20%に減少していた。

3. 「コミュニティ・レベル」Brush Up! Safer Sex

配布後の効果評価は今年度内には実施していないため、現段階では、リーフレットの完成後における啓発資材としての表現における考察および配布活用の展望について、以下にまとめておく。

(1) 啓発としての表現についての考察

【男性裸像写真の使用について】

このリーフレットでは、男性の裸像の写真を2点使用した。1つは、表紙におけるアイ・キャッチとして、もう1つは、裏面の中央における視覚効果として使用している。

ゲイのカメラマンによるセックス・アピールの強い健康的な男性モデルの写真は、ゲイ男性にアピールする上で効果的な要素の1つであると思われる。また、表紙の使用については、青みがかかった色調をこのリーフレット全体の統一カラーに発展させているため、デザイン・モチーフ上重要な役割を果たしている。

その上で、こういった啓発媒体における男性裸像についてのイメージ展開が、一種の典型的なイメージを固定してしまうリスクも存在する。HIV 予防啓発における視覚効果としての写真使用には、様々なバリエーションの可能性があるが、固定したあり方にとらわれずに多様な試みがなされる必要がある。

【主張スキル・マンガの表現について】

今回、エイズ予防啓発における主張スキルをテーマの表現方法として、マンガという形式を初めて採用した。マンガによる表現は、親しみがあり、広く目を引く効果が期待できる半面、内容と表現には周到な検討を要するものである。アンセイファーセックスな性行為に至るプロセスを表現し、読者にそのストーリーに感情移入させるためには、性的な魅力を含めたリアリティが必要である。一方、性的な魅力を伴ったアンセイファーセックスの場面に強い印象が残る場合、そのイメージの固定化、読者の独自の解釈の一人歩きがおこる可能性がある。この点については、アンセイファーなセックスをセックス・ファンタジーとする人々には、前後の脈絡を超えて、ファンタジーを増幅する作用が生じるため、教育資材／啓発資材としては適切とはいえない。このリーフレットでは、アンセイファーセックスに至るプロセスの中に対案を提起してはいるが、その提示方法、視覚上のバランスには、より細心の注意が必要であるという意見が完成後に寄せられた。

【行為毎の HIV 感染の可能性の表現について】

また、ゲイどうしのセックスの中で「知っておきたい4パターン」について、HIV 感染の可能性をイラスト入りで表現をし、可能性の「有」「無」を色分けし大きく明示した。この表現について、コンドーム無しの行為である場合に可能性の「有」か「無」かであることがフォローされていない場合、可能性「有」の行為そのものに、ネガティブなイメージを与えてしまうリスクがあることも指摘されている。このリーフレットでは、これらの行為の場合の対処提案を先に掲載しているが、「知っておきたい4パターン」の後にその提案が掲載される方が、より啓発として適切であったといえる。

また、4つのパターンについての表題「なめる側」「なめられる側」「入れる側」「入れさせる側」とした点について、各行為の呼称を受動的にするか能動的にするかは、セイファーセックスの「主体性」とも関係するため今後も検討を要する点として挙げておく。

能動的な呼称	受動的な呼称
入れさせる側 受ける側	入れられる側
なめさせる側	なめられる側

この4つのパターンに登場するイラストの中の2人の設定に関して、長髪と短髪の2人の間の役割については、セックスにおける固定観念的役割をズラすことから、アナルセックスにおける入れる側を長髪に、入れさせる側を短髪とした。そのかわり、なめる側を短髪とし、なめられる側を長髪とした。

【周囲規範についてのアピール方法について】

アナル・セックスについての周囲規範を実際のコンドーム使用率と、まわりの間で（思い込み）の使用率のギャップを棒グラフで表現した。しかし、ギャップを実感してもらう別の表現方法としては、いわばクイズ形式による表現方法がある。具体的には「あなたは、まわりのみんなはアナルセックスでどのくらいコンドームを使用していると思いますか？」という質問をして、回答を空欄にしておく。正答の76.1%を別欄に記載することによって、見る人が1度頭の中で思考をすることによって、内容を意識化させることができる。この表現方法については、他地域での制作の場合に再検討することとした。

(2) 配布活用としての展望

このパンフレットのサイズは、定型封筒に入るサイズではあるが、従来の配布媒体としては、大きめである。これは、蛇腹形式である特性を活かして、バーやハッテンバでは蛇腹を広げて掲示してもらう場合に効果的であるように考慮したためである。

フライヤーやカード、冊子を店舗に置いてもらうことは、手にとる人、持ち帰る人以外には、効果的とは言えない。店舗の壁面やトイレに掲示してもらうことは、より多くの人にとって目を引き、マンガやセルフ・チェック・シートなどを通して部分的にでも啓発効果を高められるのではないかと考えた。

地域性の強い媒体とする意味で、行政サービス情報の普及については、横浜市内の相談・検査機関を中心に4ヶ所を掲載した。NGO サービス情報の普及については、関東でのゲイ向けサービスを実施している複数のNGOによるリソースを掲載した。これらの広報が、実際のサービス・アクセスに繋がるよう、配布アウトリーチ活動を展開していく予定である。

E. 結論

1. 平成13年度の達成内容

平成13年度は、研究2において実施されたリスク・アセスメント調査によって得られたデータ結果を、啓発手法へ反映させるための応用プロセスを4段階で実施し、その結果を記録整理した。さらに「個人レベル」と「小グループ・レベル」「コミュニティ・レベル」の3類型毎にプログラムを組み立て、固有の領域と検討された領域にもとづいた啓発手法を開発し、パイロット実施を行った。今年度新たに開発したプログラムは、「個人レベル」としてSTD情報ページ（ホームページ）、「小グループ・レベルレベル」として、LIFEGUARD2002（ワークショップ）、「コミュニティ・レベル」としてBrush Up! Safer Sex（パンフレット）である。

このうち、LIFEGUARD2002については、平成14年度の本介入での効果評価手法を検討するために、効果評価アンケートを試みた。サンプル数が少ないという限界があるものの、今年度の結果は以下ようになった。①「感染体液についての知識」「感染部位についての知識」において、プレ調査とポスト調査の間に有意な差が見られたこと。②「コンドームの使用意識」にプレ調査とポスト調査の間に有意な差が見られたこと。③「HIV感染を避けるテクニックの認知」については、フェラチオ、アナルセックス両者において、プレ調査とポスト調査、フォローアップ調査の間に有意な差が見られたこと。④「自己効力感」のうち、「口内射精を避けることがいつでもできる」

人の中で、各々プレ調査とポスト調査の間に有意な差が見られていたことである。

2. 平成 14 年度の啓発介入の計画と展望

本研究を実施するプロジェクト「プロジェクト OURS」では、リスク・アセスメント結果を活用して、平成 13 年度までに開発した啓発介入手法を組み合わせ、地域毎に啓発介入パッケージを立案し、平成 14 年度において、啓発介入（本介入）を実施する予定である。全体として、「個人レベル」「小集団レベル」「コミュニティ・レベル」を地域毎に必要性および実施可能性を検討した上で、複合的に組み合わせた啓発介入パッケージとして立案し、半年以上の期間を設定してキャンペーンを行う。

【個人レベル】

STD 情報ライン（0120-783-083）と STD 情報ページ（www.occu.or.jp）の年間を通した、普及と運営を行う。

【小グループ・レベル】

LIFEGUARD2002（ワークショップ）と同様の位置付けにあるワークショップを、札幌、東京（関東）、松山において各複数回開催する。

【コミュニティ・レベル】

Brush Up! Safer Sex（パンフレット）と同様の位置付けにある情報媒体を札幌、松山において制作し、普及を行う。

また、「個人レベル」および「小グループ・レベル」の啓発の広報とタイアップする形式で、メディア上における啓発広告を展開し、パブリシティ・キャンペーンとしての効果を発揮させる。

目標はコミュニティ・レベルでの社会規範を変容させることであり、各地域のコミュニティで受け入れられていく内容とプロセスを計画的に実施していく。

これらの啓発介入（本介入）に関して、効果評価調査を行い、結果を地域別にまとめる予定である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

【地方自治体施策への研究成果の反映】

＜共催、共同発行、等＞

川崎市健康福祉局健康部疾病対策課

男性同性愛者向け小グループ・レベル・ワークショップ「LIFEGUARD2002」

川崎市健康検診センター, 2002. 2. 9

横浜市衛生局難病対策課

男性同性愛者向け啓発リーフレット制作「Brush Up! Safer Sex」, 2002

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

トップページ

http://www.oceur.or.jp/STD_INFO/

Oeour NPO法人アカー STD情報ページ リンク

TOP > STD情報ページ > 性感染症とは

NOTICE (注意！)
このページは、男性どうしのセックスを前提に性感染症 (STD) についての情報を提供するページです。男性どうしのセックス以外の感染経路を含めて網羅したものではありませんので、ご了承ください。

▼STD情報ページはこんな構成になっています

主な情報は以下の4つにまとめられています。アクセスしやすいところからクリックしてみてください。よりこまかな情報へアクセスするには左のメニューをクリックして進んでください。

- 性感染症とは
 - 性感染症とは (詳細)
 - 病名からみる編
 - 症状からみる編
 - 行為からみる編
 - 生手子からみる編
 - 検査・クリニック情報
 - A肝/B肝ワクチン
 - 相談・リンク情報

ハッテン場/サウナ/ヤリ部屋/バー/メール/サークル...
出会う機会が増えたよね!

これってどんなの
 病名からみる編

こんな症状がある
 症状からみる編

こんなことしたけど
 行為からみる編

こんな戸惑いに
 キモ子からみる編

病名からみる編

http://www.oceur.or.jp/STD_INFO/byoumei.html

Oeour NPO法人アカー STD情報ページ リンク

TOP > STD情報ページ > 病名からみる性感染症

▼病名からみる性感染症

STDにはいろいろな種類があるので、いざ体調が心配になったりセックスのあとに不安になったりしたときに、どんな可能性があるのか迷うことはありませんか？ここでは、STDの中でもよく相談が寄せられるものについて、実際の質問をもとに情報を集めてみました。病気の名前は聞いたことがあるけど、いまひとつどういうものかよくわからない、病院で病名を言われたけど、もっと詳しく知りたい、というときにこの「病名からみる性感染症」を読んでみてください。僕たちに身近なSTDについて大まかな特徴を覚えておきましょう。自分やパートナーにその特徴があらわれた場合や、友人が相談してきた場合に役立つかもしれません。

◆エイズ/HIV感染症
STDの中で最も重要な病気。まずは予防を心がけて！

◆A型肝炎
なごより安静が大切。決して無理せず、ゆっくりと回復を目指そう。

◆B型肝炎
数ヶ月で治るが、入院によるライフスタイルへの影響は大きい。

◆C型肝炎
感染、発症しても気づかないことが多く、また、

◆クラミジア
無症状のこともあるので注意！おしっこをするときに痛みがあったらすぐ泌尿器科へ！

◆性器ヘルペス
薬で症状を抑えられます。再発があることも特徴ですが、軽くすみます。

◆尖圭 (せんけい) コンジローマ
自然に治らず、イボは感染力をもちます。たかがイボだと誤っておいてはダメ。

◆毛じらみ
かゆさが続いたら、じっくり陰毛の根元を見てみ

「アナル・セックスの時のコンドーム使用」で、ほぼ防ぐことができます。

症状からみる編

http://www.occur.or.jp/STD_INFO/syoyjo.html

OCOUR NPO法人アカー STD情報ページ リンク

TOP > STD情報ページ > 症状からみる性感染症

▼症状からみる性感染症

STDには、典型的な症状の特徴があるものと、他の病気や体調の不調と区別しにくいものがあります。ここでは、ゲイの間で可能性のあるSTDの特徴的な症状から「こんなSTDの可能性が考えられるかもしれない」ということを早く発見できるようにまとめてみました。これらは、「STD情報ライン」に寄せられてくる相談の中で多かったものに限ってまとめたものです。STDの可能性がある場合に少しでも発見の近道になればと思いますが、あくまで可能性なので、心配な場合は早めに診察を受けて、シロウト判断は避けましょう。



あそび	こんな風になったけど...	STDだとしたら、こんな可能性が...	STDじゃない可能性は...	どうしたらいい?
ペニス	ペニスにできたものができた	尖圭コンジローム、梅毒、性器ヘルペスなど	STDではない皮膚炎などもありません。カサカサしたところがある小さなブツブツをSTDと誤って思ったり、かゆみや腫れ（病気ではありません）も多くあります。	症状がおさまっても感染したままのこともあるので、できものがあろうちに病院で診てもらったほうがいいでしょう。皮膚科や泌尿器科、性病科へ。
	おしっこする時に痛い、ヒリヒリする	淋菌、クラミジア尿道炎など	尿道に細菌が入るなどで、STDでない尿道炎もあります。その他、STD以外の泌尿器系トラブル	放っておくと痛みが強くなるので、気づいたら早めに泌尿器科へ。STDによる尿道炎であるかどうかに関わらず泌尿器科へ。

行為からみる編

http://www.occur.or.jp/STD_INFO/kouji.html

OCOUR NPO法人アカー STD情報ページ リンク

TOP > STD情報ページ > 行為からみる性感染症

▼行為からみる性感染症

ここでは、ゲイのセックスで、こんなことをしたら、「生活の影響の大きいSTDの心配があるか」についてまとめてみました。こんな行為をした…イコールこのSTDになるという訳ではありません。セックスでどちらかの人がその行為でうつりやすいSTDを持っていて初めて感染の可能性が出てきます。また、そのSTDに感染してどのくらいか、体のどこに症状が出ているかなどによっても可能性は違ってきます。STDを行為だけで診断することはできないので、あくまで目安として参考にして下さい。



こんなことしたんだけど...	生活に影響の大きいSTDとの関係は?	セーフにするためには...	それでもやっちゃったらどうしたらいい?
キス	生活に影響の大きいSTDは心配ないでしょう。		
相互マスターベーション	生活に影響の大きいSTDは心配ないでしょう。		
		●口での射精を避けること。射精を口の中に出さず、外に出そう。もし射精があっても精液までできるだけ飲み込まないこと。	

キモチからみる編

http://www.occur.or.jp/STD_INFO/shinri.html

Occur NPO法人アカー STD情報ページ リンク

TOP > STD情報ページ > キモチからみる性感染症

サイト全文検索 Googleで検索

▼性感染症とは

- ▼病名からみる編
- ▼症状からみる編
- ▼行為からみる編
- ▼キモチからみる編
- ▼セーフセックス編
- ▼病院編
- ▼検査・クリニック情報
- ▼A肝/B肝ワクチン
- ▼相談・リンク情報

治療に根拠のいるものと、1~2週間ですぐ治るものに分けられます。

STD INFORMATION

▼キモチからみる性感染症

STDを予防するためのセーフセックスや、STDにかかった後の治療や病院選びなど、どれも大切だけれどもめらいがあるとか、ほかの人はどう思っているのかわからない、自分ではわかっているけどなかなかうまくいかない、なんて体験談を多く聞きます。ここでは、そんな経験談をもとに、「気持ち」や「コミュニケーション」、「心の準備」などについて参考までにQ&Aでまとめてみました。「僕の場合はこんなふうによたらうまくいったよ！」なんて体験談もどんどん増えてくるといいね。

●セーフセックス、どうやったらうまくできるかな？

セーフセックスって聞いたことあるよね？でも、よく聞くのは、「わかっているけど、つい成りゆきでリスクのあるセックスをやっちゃった」という声。詳しく聞いてみると、みんな同じ悩みを持っているんだなことに気づきます。だったら、ぎみの相手も似たようなことを考えているかも…。勇気をもってちょっと工夫して話し掛けてみたら、今までよりもうまくいくかもしれないよ。

相談リンク・情報

http://www.occur.or.jp/STD_INFO/soudan_link.html

Occur NPO法人アカー STD情報ページ リンク

TOP > STD情報ページ > 性感染症の相談・情報・リンク

サイト全文検索 Googleで検索

▼性感染症とは

- ▼病名からみる編
- ▼症状からみる編
- ▼行為からみる編
- ▼キモチからみる編
- ▼検査・クリニック情報
- ▼A肝/B肝ワクチン
- ▼相談・リンク情報
- ▼電話相談/サイト
- ▼セーフセックス
- ▼HIV・電話相談/サイト
- ▼リンク
- ▼要望・アンケート

HIVはエイスの原因となるウイルス。HIVに感染して、特定の症状が出てきた状態がエイス。

STD INFORMATION

▼ゲイのための電話相談/サイト

●動くゲイとレズビアンのか（アカー）

<相談>03-3380-2269（火・水・木：19~22時）
 <STD情報ライン>0120-783-083（月・金：12-24時/20-24時）
 <A型肝炎専用>03-3383-5556（毎日12~24時/予約制）
 <法的トラブル専用>03-3383-5556（毎日12~24時/予約制）
<http://www.occur.or.jp>

●HIVと人権・情報センター東京 ゲイ・ホットライン

<相談>03-5259-0750（第2・第4日：19~21時）
<http://www.npo-jhc.com>

●AGP（同性愛者医療・教育・福祉・カウンセリング専門家会議）

<AGPこころの相談>03-3319-3203（火：20~22時）
 <AGP関西こころの相談>078-577-9979（第1・第3水：20~22時）
 <AGPからだの相談>03-3319-3203（第1・第3水：21~23時）
<http://homepage2.nifty.com/AGP/>（AGP）
<http://member.nifty.ne.jp/0416/agg-kansai/>（AGP関西）
<http://homepage1.nifty.com/DrAGP/>（Dr.AGPの医学講座）

●ふれいす東京 Gay friends for AIDS

http://www.occur.or.jp/STD_INFO/soudan_link.html

フライヤー

もっとセイファーセックスを楽しみたいあなたへ

「LIFEGUARD 2002」とは…

「LIFEGUARD 2002」とは、セイファーセックスについての(ゲイのための)交流&勉強会のこと。ゲイの司会やスタッフでお届けする、レクチャーとグループゲームを組み合わせたプログラムです。

2001年に4都市のゲイ341人に実施された、オリジナルアンケートでわかったポイントで構成。

「セイファーセックスに関する大きな誤解」「状況に流されちゃうのはどんな時?」「こぼや仕事での効果的なアプローチ」「ボクでもできるエッチなコンドーム・セックス」など、みんなが知りたいことをじっくり掘り下げます。

今後のゲイライフのために、ためになるエッチで楽しいテクニックをつかみませんか?

☆ ゲイのためのセイファーセックス講座 ☆

Life Guard 2002

【プログラム】

1. セルフチェック・スタディ
2. エイズ/STDについてのQ&A
3. 使えるテクニックとハウツー・シェアリング
4. コミュニケーション・スキルアップ・ゲーム

主催: NPO法人 アカー (OCCUR) 後援: 川崎市

2002年2月9日(土) 16~19時

- 開 場: 15時30分より開場(定員50名)
- 会 場: 川崎市健康・検診センター研修室 (JR川崎駅東口前)
川崎市川崎区駅前本町
12-1川崎駅前
タワー・リパーク18F
- 参加費: 無料(セイファーセックスグッズもプレゼント!)
- 問合せ: NPO法人 アカー (OCCUR)
tel: 03-3383-5556
e-mail: occur@kt.rim.or.jp



イベントに行ける時間が無いよ〜というあなたは

www.gb-gcs.com/STD/

WEB55 僕らのとなりの「HIV」

STD情報ライン 0120-783-083

エイズ/HIV、肝炎、ペニス&アナルの悩み……
月・費: 12~14時/20~24時

OCCUR

プログラム

LIFEGUARD2002 LIFEGUARD2002

LIFEGUARD2002

日時 2002年2月9日(土) 16-19時
主催 NPO法人アカー (OCCUR)
後援 川崎市

本日は、「LIFEGUARD2001」にご参加いただき、
ありがとうございます。

プログラム

- 1……おしゃべりルーレット
- 2……セルフ・チェック・スタディ
(休憩) ……コンドームランキング
- 3……使えるテクニックとハウツー・シェアリング

【ご協力をお願い】
プログラムの開始前と終了時にアンケート協力をお願い致します。

LIFEGUARD2002・進行シナリオ

—開始前—

16:00～16:25(25分)

<BGM チェンジ>

CD1 Swan Dive 「June」 全曲リピート

アシスタント

- * 開始時間の案内
- * 喫煙場所、トイレ等の案内
- * 名札の説明
- * 配布物の確認
- * プレ・テストの記入のお願いと回収のお知らせ

—導入部—

16:25～16:30(5分)

アシスタント

・たいへんお待たせいたしました。ただいまより、ライフガード2002を開催いたします。ここからは、本日のイベント・ナビゲーターにお願いしたいと思います。お願いします。

<BGM チェンジ>

CD2 M2M 「Shape of Purple」
(トラック①、⑦、⑩をリピート)

司 会

こんにちは、皆さんようこそいらっしゃいました。本日のライフガード2002をナビゲートさせていただきます〇×と申します。これから約3時間、皆さんと一緒に、多くの人との会話を通じてHIV/エイズのことやセイファーセックスについて考えたり、知識を深めたりしていきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

<イベントの説明>

- ・LIFEGUARD2002は、ゲイのためのエイズ予防キャンペーンとして、今回は川崎市の後援を

えています。

- ・テーマとしては、ゲイが昼間に出会ったうえで、ゲイどうして「話す」ことにより「セイファーセックス」について、服を脱ぐ前に、具体的に考えたり、セイファーセックスについて切り出す方法を試してみることがテーマ。
- ・7時までの3時間、楽しみながらセイファーセックスに身近になっていただければと思います。

<プログラムと進行>

- ・3部構成

第1部 おしゃべりルーレット

第2部 セルフチェック・スタディ

第3部 使えるテクニックとハウツー
・シェアリング

- ・色々な人と話すことによって、知識をえるだけでなく、具体的な状況を考えながら、知識を実際の場に役立てるための方法を考えるためのプログラムです。
- ・各コーナーで、趣向を凝らしたゲームを用意していますので、肩肘はらずに楽しみながら参加してくださいね。
- ・それと、最後に、メモ帳についての説明ですが、これは今日新しく知ったことのメモや今日出会った人との情報交換にも活用してみてください。なんせ、出会いのチャンスでもありますからね。

プログラムについての説明は、ここまでですが、スタッフより2つのお願いがあります。

アシスタント

- ・お手数ですが、プログラム中は、携帯電話やPHSなどをお持ちの方は、着信音などを切ってもらえると幸いです。
- ・また、こちらもお願いなのですが、プログラム中に写真を取らせて頂きたいと思っています。これはこのイベントの案内などに使うものですが、個人を特定できるような使い方はしませんので、ぜひご理解いただければと思います。

以上、LIFEGUARD2002を楽しんでいただくためのお願いでした。

<BGM チェンジ>
 CD3 (MD あり)
 R. E. M. 「Out of Time」(トラック⑥をリピート)

—第1部—
おしゃべりルーレット
 16:30~16:55(25分)

司 会

それではさっそく、プログラムの第1部、〈おしゃべりルーレット〉に入っていきます。この〈おしゃべりルーレット〉は、全員とちょっとずつフリーに話す、自己紹介をかねたコミュニケーションウォーミングアップのプログラムです。

今日、初めて会った人もたくさんいらっしゃいますよね。第2部以降は、セックスやエイズの話をしていきます。ちょっと抵抗があるなという方も、まずはウォーミングアップとして楽しんでみてくださいね。

HIV/AIDS やセイフーセックスの話題にとられず、適当なトピックでコミュニケーションしてみてください。

では、スタッフの方、ゲームのやり方の説明をお願いします。

アシスタント

・はい、第一部、「おしゃべりルーレット」について説明します。

・今、皆さんには向かい合わせに座ってもらっていますが、向かいの人どうして1分間づつおしゃべりをしてもらいます。

・まず、このベルが鳴ったら(マイクをベルに向けるので、チン!と鳴らす)列の外側に座っている人が、内側に座っている人に聞いてみたいことを質問して話してもらいます(アシスタント&誘導係は、アナウンサーの動作をマネして、外側の列を手で指し示し、その手を内の列に移動する)。

・次に、30秒たちましたらベルがもう一度鳴ります(マイクをベルに向けるので、チン!と鳴らす)。

・そうしたら今度は役割交代で、左側の方が右側の人に逆に聞きたいことを質問して話して下さい(アシスタント&誘導係は、アナウンサーの動作をマネして、内側の列を手で指し示し、その手

を外の列に移動する)。

・それで、1分たちましたら、ベルを2回鳴らします(マイクをベルに向けるので、チン!チンと2回ならず)のでお話しを終えて下さい。

・そうしましたら、今度は皆さんいっせいに立ち上がってもらって、自分の左隣の席に移動してお座りください。

・皆さんが移動して、着席されたら、また、ベルの合図で向かいの人と1分間おしゃべりをします。これを時間がくるまで繰り返します。

・なお、席の中に1つだけ向かいあう人がいない席がありますが、その席に座った方は、おしゃべりは1回お休みとなります。

・これは、同じ人と2回話すことが無いようにする為に必要なので、申し訳ありませんが、その席になった方は、すこし休憩をしてください。

・最後に、受付でお渡しした手提げの中に、緑色の紙/カードが入っています(オーバーに緑色の紙を袋から取り出し、高く掲げて見せる)。

・このゲームは、自己紹介をかねたゲームなので、聞いてみたいことを聞いていただければいいのですが、一応、こんな質問はどうでしょうか?というものを上げてみましたので、よろしければ使ってみてください。

司 会

わかりましたでしょうか? 実際にやってみると要領もわかってくると思います。

では、さっそく始めていきましょう。時間は全部で20分ですので、1人につき20人と話せる計算になります。それではスタッフの方、合図をお願いします!

アシスタント

・では、始めます。どうぞ!(チン!)

アシスタント

・(30秒たってチン!)

・はい、30秒たちましたので、それでは今度は逆の方(アシスタント&誘導係は、アナウンサーの動作をマネして、こちら側の方と指さす)が質問をしてみてください。

・(1分たってチン!チン!)

はい、1分たちました。皆さん、立ち上がって席の移動をお願いします。ご自分の左隣の席の一つ移動してください(アシスタント&誘導係は、

アナウンサーの動作をマネして、こちらに移動と誘導する)。

・(移動しない場合には、呼びかける)
席の移動で～す。立ち上がって左隣の席に一つ移動してください。この後も、まだまだお話しは出来ま～す。話せる相手の数が少なくなってしまいますので、速やかな移動にご協力ください。

※ベルに合わせて随時、どちらに座っている人が話すか/交代/座席移動についての説明を繰り返す(最初の1、2回は丁寧なくらいに)

< 終 了 >

司 会

皆さんどうでしたか? ひっきりなしに話すと、結構体力いりますよねー。

BGM チェンジ
CD 1 Swan Dive 「June」 全曲リピート

第1部はこのへんで終わりとなります。では、ここで5分間の休憩を取ります。第2部からは、映像室という別の部屋を利用しますので、お手数ですがそちらに移動していただけますでしょうか。スタッフの方、映像室へ案内してください。

スタッフ (休憩中、アメなどの配布、アメは配布後、メモ帳置き場に設置しておく)

< 休憩 5分 (16:55~17:00) >

—第2部—
セルフチェック・スタディ
17:00~17:50(50分)

<セルフチェック・シートの記入>

<BGM チェンジ>
CD 4 New Order 「Republic」 全曲リピート

司 会

それでは第2部をはじめたいと思います。第2部では、これだけは知っておいてほしいセーフーセックスに関する基礎知識についてレクチャ

ーします。

レクチャーの前に、みなさんに一つやっていただきたいことがあります。

受付でお配りした「セルフチェック・シート」。これ、これですね。これを出してもらえますでしょうか? はい、それですね。

このセルフチェック・シートなんですが、プロジェクト OURS のアンケート調査による科学的データを駆使して開発したものです。なんじゃ? というような質問もあるかと思いますが、ぜひ当てはまるものに **YES** と記入してみてください。セーフー度、リスクー度が自分で測れます。(記入してもらおう)

司 会

はい。終わりましたでしょうか? これは、後でまた使いますので、とっておいて下さい。そうそう、くれぐれもシールは剥がさないで下さいね。

<エイズの基礎講座>

司 会

さて、セーフー度、リスクー度が各自わかったところで、セーフーセックスの最も基本、つまりエイズの基礎講座にいきたいと思います。スタッフに講師として手伝ってもらいます。よろしくお願いします。

レクチャースタッフ

よろしくお願いします。

司 会

H I V感染を知るにはズバリ何が基本でしょうか?

レクチャースタッフ

そうですね。まずは「何の体液からうつるか」、そして「体のどこからうつるか」、これを知ることですね。さらに、ゲイの場合は「するほうか、されるほうか」もポイントになるんですよ。ここでは、パネルとパズルをつかって説明してみます。

<関係する体液>

(パネルとパズルを出す)

司 会

では、H I Vに感染の可能性ある体液を、このパネルをつかって分けてもらってもいいですか。(参加者に) どうでしょう、いかがですか?

参加者：(回答してもらう)

レクチャースタッフ

そうですね。答えは、「精液」「血液」「先走り液」です。先走りは、精液よりも感染の可能性が低いと言われていますが、このように可能性があるかないかという意味では、「ある」に入ります。「先走り」については詳しくは後でまたふれます。汗や唾液ではうつりません。(ここでは、言い切りの表現を使う)

<関係する体の部分>

司 会

次は、その関係する体液(精液、血液、先走り液)が体のどこに接触したらHIV感染は起こりえるのでしょうか?…ということで、やってもらえますか?(参加者に示す)

レクチャースタッフ

はい、そうですね。それでは、正解は、尿道、直腸、口の中ですね。いわゆる粘膜といわれている部分です。亀頭は粘膜じゃないんですね。亀頭に精液が触れてもうつりません。どういう場合にうつるかという、尿道の粘膜にふれると、感染の可能性はあるんですね。

<するほうか、されるほうか>

司 会

基本の3つめは、するほうか、されるほうか、という問題ですね。ゲイのセックスの場合、フェラチオとアナルの2つを考えた時に、それぞれの側で感染の可能性がどうなるのか、どう違うのかを知っておきたいところです。ここは、ノンケとは違うところで、ゲイは概ね「する」「される」両方の側に立たされるからですね。

まずは、フェラチオからいきましょう。

コンドームをしていない場合、舐める側は感染のリスクはあるでしょうか?

(誰かにマイクを向けて) どう思います? 有りか無しかで回答して下さい。

参加者：(回答してもらう)

レクチャースタッフ

そうですね。正解は(シールを取る) 有りです

ね。

司 会

じゃ、舐められる側は、どうでしょうか?

(誰かにマイクを向けて) どう思います? 有りか無しかで回答して下さい。

レクチャースタッフ

そうですね。正解は(シールを取る) はい、無しですね。舐められる側は、唾液がつくだけなので、リスクはありません。

司 会

次にアナルにいきましょうか。入れられる側は、(シールを取る) これは、「有り」です。

では、入れる側をちょっと聞いてみましょう。(誰かにマイクを向けて) どう思います? 有りか無しかで回答して下さい。

参加者：(回答してもらう)

レクチャースタッフ

そうですね。正解は(シールを取る) こちらも、「有り」なんです。入れる側にも可能性はあるんです。

アナルの中で出血することがあるので、その血液が尿道にふれることで、感染の可能性はあるんです。

蛇足ですが、ここでは、わかりやすくするために、「ある」「なし」をはっきりさせましたが、相手の口の中にもし傷があるとしたら、舐められる側にもリスクがないとは言えません。

司 会

これで、HIVの基本的なことはだいたい押さえられましたね。すでに知っていたかもしれませんが、その場合はおさらいとして考えてください。もちろん、知らない友達がいたらぜひ教えてあげてくださいね。

<リスク・グラデーション>

司 会

セックスっていろんな種類がありますよね。どんな行為がリスクがあって、どんな行為がリスクが低いかって知っていますか? ここではまとめです。5つの行為をパズルにしましたが、これをリスクの順に並べると、どうなるのでしょうか。

レクチャースタッフ

そうですね。(並べる) こうなります。

明らかにリスクがあるのは、上のこの2つです。

下にある「ディープ・キス」、「握手」は全くリスクがないから下にあるんです。問題は、真ん中にある、この「生でしゃぶる」。これはどうでしょう？

<「生でしゃぶる」について>

司 会

そうですね。「生フェラはセイファーセックスかどうか？」って結構聞かれる疑問ですよ。ということで、その疑問に答えるべく、解説をここでちょっと詳しくやりましょう。配った資料に「フェラチオセックス」というシートがありますので、またお手数ですが出してもらえますか？

レクチャースタッフ

ここに書いてあるように、フェラチオのリスクを考えるとポイントとなるのは、精液をどうするか、先走りがどうかといったことがありますね。先走りについてはわかっていないこともあるので、厳密に言えば、リスクがないとは言えません。

司 会

そうですね。ということで、フェラチオのときにセイファーにするための4つのポイントを確認しましょう。まず、1つ目が「口の中で精液を受けない」、2つ目が「精液を飲まない」、3つ目が「口内射精されちゃったら吐き出す」、4つ目が「先走りも考える」です。射精を避けきれず口の中に射精されたら、すぐ吐き出す、口をすすぐ、という方法で、リスクを下げましょう。先走りは、リスクが不明な分、個々人の判断となることでしょう。

<チェック・シートのカウント（リスクの自己評価）>

司 会

以上をもって、基礎知識のレクチャーは終了です。

さて、レクチャーも終わったところで、さっきやった「セルフチェック・シート」を出してもらえますでしょうか。

ここで、シートの右にあるフセンをはがして下さい。（ジャン！）

そこには、カウントが書いてあります。Yesとチェックしたところの数字を全部足してみして下さい。

足された数字の合計が、あなたのセイファー度

もしくはリスク一度のポイントです。セルフチェック・シートなので、結果は自分だけで確認してくださいね、もちろん見せ合いたい方はかまいませんけどね。

これは、341名の調査を科学的に分析したデータからつくったもので、リスク行動と何がどのくらい関係するかを調べてオリジナルで開発したものです。

さて、この全部足した数字はどうなんでしょう？

レクチャースタッフ

はい。この数字ではセイファー度がわかります。ポイントが、6カウント以下だった人、比較的セイファーです。7～19だった人、ちょっとリスクキーです。20以上だった人、いろいろなリスクに囲まれていますね。40以上だった人、けっこうリスク高いですね。

ただし、これは40以上だったら感染しているということではありません。あくまで、こういう傾向がある、ということです。自分のリスクは何かをちょっと考えてもらうきっかけなんです。

司 会

カウントの合計数での見方もあるかと思うんですが、一方、この15項目のどれにチェックしたかがけっこう重要なんですよ？

<RAデータ説明（1～15）のダイジェスト解説>

レクチャースタッフ

そうですね。ちょっとざーとみていきましょう。

司 会

自分がチェックしたところは、特に注目して下さいね。

レクチャースタッフ

カウントの大きいところからいきましょう。まず20カウントの3つです。これはさっきのレクチャーでもあったようにリスク行為そのもの、というわけです。最低限この3つだけは避けたい、というものです。

司 会

なるほど。まあ、リスク行為そのものではカウントも高くなりますね。次に、8カウントというのが2つありますね。これは？

レクチャースタッフ

はい。自分から相手に言う、つまりこれは、セックスの中でコミュニケーションができるかということです。調査によると、相手に伝ええない

という人が2割ぐらいいました。これは3部につながるテーマですので、あとをお楽しみに。

司 会

3カウントの14番、「するつもりがなかったり、好きじゃないやり方のセックスでも、相手から求められたらやっちゃうことが多い」。これは？

レクチャースタッフ

これは、相手次第ということですね。相手がどうでかがけっこう影響があるということなんです。つまり求められると受け入れてしまう傾向があるという結果です。柔軟であることは大切ですが、それがリスクのある行為の場合は、そのままリスクを受け入れてしまうということですよ。

司 会

あとは2や1が多いですね。これはどんなんでしょう？

レクチャースタッフ

んー、悩むところですね。ちょっとピックアップしていきましょう。

セイファーセックスがどうでもよくなってしまふものとして、8番と9番の、酒やドラッグがあります。良い悪いは別として、判断を鈍らせるという意味でも多少影響があるんです。飲み方や使い方が肝心かもしれませんね。

次に「イケメン」。これはけっこうみんなチェックしてませんか？チェックしている人は冷静さが肝心ですね。6番、11番は、コンドームに抵抗があるということです。コンドームを楽しく使ってみる方法をこの後の休憩のときに紹介しますので、ぜひご覧下さい。

司 会

自分の好きなコンドームとか見つけたいですよええ。休憩時間ではお薦めのコンドームを9つ紹介しますので、お楽しみにして下さい。

さて、7番の「浮気をしないと約束した相手とでは、ゴムをつけなくてもいいと思う」。これは？

レクチャースタッフ

これは、ですね。そういつている人が逆に結構リスクのある行為をしているんですね。特定のパートナーがいる人の63.3%はパートナー以外の人もセックスをしているという結果が出ています。「浮気をしない」ことは本当に成立しているのか、数字を見ても確信はできませんよね。

レクチャースタッフ

最後に、みんなが思っている以上にコンドーム

は使われている、というデータもあるので紹介しておきますね。まわりのみんなはアナルセックスでコンドームを使っているだろう、と答えた人は、60%いました。しかし、実際にアナルセックスではコンドームを使っている人は、77%の人もいました。つまり、思っている以上に実際はみんなコンドームを使っている、ということなんですよ。こういうことって、調査しないとわかりませんよね。みんな使いにくいと思っているんじゃないかな？という思いから、コンドームを使うのが消極的になっちゃってる人もいるかもしれませんね。アナルではけっこうみんなゴムを使ってるんですね！

<リスクの個人化の気づき>

司 会

はい。これでひとつお入りですね。こう見てくると、リスクといってもセックスのことだけでなく、誤解とか、相手の出方とか、交渉術とか、イメージとか、いろんなことが絡み合っているんですね。みなさんは、チェックしたところのどれが、課題だったのでしょうか？ せっかくなので、よ〜く振り返って、今後の参考にしてもらえたらと思います。次の3部でも関係してくるので、自分の課題は何かを覚えておいてください。

<BGM チェンジ>

CD1 Swan Dive「June」全曲リピート

—休憩部—

コンドーム・ランキング

17:55~18:10(15分)

司 会

さて、これから15分間の休憩時間です。準備がありますので、今度はまた先ほどの研修室に移動していただけますでしょうか。面倒なんですけど、休憩が終わったら、今度はこちらにまた戻ってきていただきますので、よろしくお願いします。

また、コンドームの展示コーナーでは、人気投票をお願いしています。休憩中に一通り6つのブースを回ってもらって、一番気に入ったコンドームを投票用紙に記入して下さい。後で発表しますので、お願いいたしますよ！

では、この時計で18:10になったら再開しますので、この部屋に戻ってきて下さいね。

Life Guard 2002

君のセイファード？セルフ・チェック・シート

最近、6ヶ月の間に次のようなことがありましたか？

	Check	カウント
① セックスのときは、エイズ/STD予防のことは頭にない。	<input type="checkbox"/> Yes	4
② コンドームなしで、口の中出しされたことがある。	<input type="checkbox"/> Yes	20
③ コンドームなしで、アナルに中出しされたことがある。	<input type="checkbox"/> Yes	20
④ コンドームなしで、相手のアナルに入れたことがある。	<input type="checkbox"/> Yes	20
⑤ 相手がイケメンだったら、セイファードセックスなんて、どうでもよくなってしまおう。	<input type="checkbox"/> Yes	2
⑥ コンドームを、着けてやるのに抵抗がある。	<input type="checkbox"/> Yes	2
⑦ 浮気をしないと約束した相手とは、ゴムを着けなくてもいいと思う。	<input type="checkbox"/> Yes	2
⑧ 酒を飲んでから、セックスをすることが多い。	<input type="checkbox"/> Yes	2
⑨ エッチのおともにラッシュやドラッグをよく使う。	<input type="checkbox"/> Yes	2
⑩ セックスをする前に、コンドームを用意していない。	<input type="checkbox"/> Yes	2
⑪ コンドームを使ったセックスをより楽しくする方法を知らない。	<input type="checkbox"/> Yes	1
⑫ アナルの時に、コンドームを使おうと伝えたことがない。	<input type="checkbox"/> Yes	8
⑬ アナルの時に、ゴムを使おうとしない相手を上手く脱得できないと思う。	<input type="checkbox"/> Yes	8
⑭ 好きじゃないやり方のセックスでも、相手から求められたらやっちゃうことが多い。	<input type="checkbox"/> Yes	3
⑮ 普段コンドームを持ち歩いていない。	<input type="checkbox"/> Yes	1

合計のカウント数	セルフ・チェック結果
0～6	比較的セイファードです
7～19	ややリスクーな傾向があります
20～39	リスクーな傾向があります
40～	リスクーな傾向が高いです

©プロジェクトOURS/NPO法人アカー (OCCUR)

このセルフ・チェック・シートはプロジェクトOURSが2001年の夏から秋にかけて実施したゲイ341名によるアンケート調査結果にもとづいて作成されました。



LIFEGUARD2002

コンドーム人気コンテスト

投票用紙

最も気に入ったコンドームに○をつけて下さい（1つだけ）

	特徴	No	商品名	投票 CHECK
トップレス	先端の精液溜まりがなくて、 使用感がない *包装に裏表記載もあり	①	SKINRESS 3000 (オカモト)	
つぶつぶ	表面に凸凹があるドットタイプ *1段絞りつき	②	Dotty (相模ゴム)	
ワンタッチ	テープを引くだけでのスピード装着 *空気又キ手間いらず	③	簡単装着 (ジャパン・メディカル)	
ウレタン素材	薄くて丈夫。肌のぬくもりが 良く伝わる?	④	サガミ オリジナル (相模ゴム)	
BLACK 黒	いつもと違った気分でワイルドに楽しもう! *1段絞りつき	⑤	BLACK (相模ゴム)	
厚み	厚いのにやわらかい *1弾絞り	⑥	ゴク厚 (オカモト)	
	20%もうすい	⑦	SKINLESS 1000 (オカモト)	
サイズ	ラージ・サイズ 太い人向き	⑧	シャポー17 38mm (不二ラテックス)	
	スリム・サイズ 細い人向き	⑨	シャポースリム 34mm (不二ラテックス)	

※このイベントでご紹介した9つの商品は、みなさんに紹介するためにスタッフが選んだものです。実際に使えて、特徴がはっきりしているものを選びました。